同窓会報
椎の樹

2006. 4. 1　第20号

発行所　群馬県立高崎女子高等学校
同　窓　会
高崎市稲荷町20　電話（027）362-2585
発行責任者　角田智恵子
印刷所　ほその印刷

わたしたちの同窓生
≪１０７周年≫
会員数　30,812名
平成18年４月１日 現在

誇りに思う同窓会員の活躍

同窓会長　角田智恵子

高女同窓生の皆様にはご健勝にて平成18年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

この一年間、国内外で天災人災が多発し心を痛めております。どうか今年こそ平和な日々が送れますよう心から願っております。

前会長斎藤民先生が亡くなられてはや一周忌が過ぎました。去る平成18年1月29日、群馬音楽センターにおいて、「みどり会」主催、斎藤民先生追悼音楽会が催され、高女同窓会合唱団「コール・椎樹」50名も出演しました。しめやかに、感銘深くそして大盛況裡に幕を閉じました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

2月12日、恒例の同窓会新年会がビューホテルで開催され当番期高29の方達のお骨折りにより出席者３００名、先輩後輩の交流、久しぶりに会った友達との談笑の渦、会場は活気に溢れて楽しいひと時でした。アトラクションは高29高井様のソプラノ独唱、ピアノ伴奏、高32岡本様で楽しませていただきました。また、「コール・椎樹」のコーラスに心をはずませ、最後は校歌の大合唱でしめくくりました。

恒例の秋の親睦旅行は旅行企画委員のお陰で信州蓼科高原方面で、マリー・ローランサンや北村西望の彫刻を見て廻り足元に気配りいただきありがとうございました。

会報「椎の樹」も今回20号となりました。発刊以来同窓会活動の情報誌として皆様にお届けして参りました、編集を担当される委員の方大変ご苦労様でした。

常任幹事、期別幹事の方は会の運営をより良くするよう心掛けてくださいます。

母校で勤務されている同窓の先生方は6名おられますが、お忙しいお仕事の合間をぬって書記、会計や学校との連絡に携わっておられ大変ご苦労様です。この様に、隠れた底力によって先輩後輩が仲良く運営して行く同窓会を大変誇りに思っています。どうか多大のご協力の程をお願い申し上げます。

いつも会議で使わせていただいている思惟庵のお庭は久しぶりに整備されて四季折々のお花が咲いております。総会の後に足を止めてご覧になってください。

不如樂之者

校長　掛川尚幸

子曰、知之者、不如好之者。好之者、不如樂之者。

孔子が言われました。「知るということだけでは、まだ、これを愛好することには及ばない。愛好するということは、これを楽しむことには及ばない。」と。『論語・雍也第六』

「樂」とは自他融合して一体になった境地のことです。

昨年「五十を過ぎた頃から、野の花や小鳥たちにも目が向き、四季折々の美しさを感じ取れるようになってきた。」と申し上げましたが、私も、間もなく「耳順」を迎えます。振り返ってみると、己が業を生きるのに精一杯で、素直に現実を見つめる事が出来ず、ときに接遇にも余裕が感じられないことがあります。人生は思いどおりにはならないとはよく言われることであります。しかし、思いどおりにならないからといって、運命の女神に己が人生を託すことが出来るほど人の一生は長くはありません。この限りある人生、だからこそ、心穏やかに「今」を生きるべく、この現実の世界を在るがままに受け止めねばなりません。眼前の日々を「事実」として受容するほどに、ストレスからも解き放たれ、良いも悪いも実際の自分に気づくようになる。そして「今」の自分を認識することが出来ようになるとこれからの人生のことも見えてくるようになり、心にゆとりが生じ気力も湧いてくる。素直で謙虚な気持ちが持てれば、我が身を弁え、生きるべき道も自ずから開けてくる。そうすれば人生を楽しむことが出来るようになるのではないかと思っております。

さまざまな外界の事象を在るがままに受け入れて、しかも、それに拘ることのない自由な精神を得たいと望んではいても、なかなか実態がともないません。

「野狐禅」に終始するかも知れませんが、それでも、「不如樂人生者」という境地に近づく努力を忘れない日々でありたいと願っております。

同窓会総会

平成17年5月7日(土)
母校 椎樹館

5月7日、業者の方によって手入れされ、新たに明るく綺麗になった椎樹館において、同窓会総会が開催されました。

吉村副会長の開会の辞で始まり、続いて角田会長のご挨拶では、思惟庵・椎樹館の障子張り替え、庭木や中庭の手入れ等が報告されました。

その後、掛川校長をはじめ来賓の方々からご祝辞を頂き、議事に移りました。

平成16年度事業報告、会計報告、会計監査報告がなされ、平成17年度の事業計画と予算案が承認されました。そして旅行企画委員会・会報編集委員会の各委員長、京浜同窓会より内容説明とご参加ご協力のお願いがありました。また、同窓会合唱団より、斎藤民先生の追悼音楽会が開催されることが報告されました。

最後に全員で校歌を合唱し美しいハーモニーが会場いっぱいに響き、吉野副会長の閉会の辞で無事終了いたしました。

毎年同窓会総会当日は、終了後、高女にて教鞭を執られた先生方を講師にお招きして講演会が行われます。興味深いお話を拝聴したり、思いがけず懐かしい顔に出会えるかもしれません。

是非、足をお運びください。

平成18年度 同窓会総会 ＆ 講演会開催のお知らせ

恒例の総会を下記により開催いたします。会員の皆様、お誘い合わせて多数御参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、総会に引き続き、母校で国語を教えていらっしゃいました角田先生の講演会がありますので楽しみにしてください。

―― 記 ――

1．日時　5月1日（月）
　受付13時45分より
　開会14時30分より
2．場所　母校 椎樹館
3．講演　つれづれなるままに『徒然草』と遊ぶ
　講師　角田匡己 先生

同窓会入会式

入会のことば

冬の厳しい寒さの中、やっとおとずれる春を喜ぶかのように、芽吹き始める校庭の木々に見守られ、私達３１３名は先程無事卒業することができました。

自分のこの胸に伝統ある高女のバッチをはじめてつけた入学式から早いもので3年の月日が流れました。あの日の感動は今でも忘れることはできません。

先生方、先輩方、そして同窓会の方々の支えがあって、私たちは今日という素晴らしい日を迎えることができました。本当に感謝しております。

高女で過ごした日々は楽しいことばかりでなく、時には大きな壁が私たちの前に立ちはだかることもありました。しかし、喜怒哀楽を常に共にする仲間たちがいたからこそ、乗り越えることができました。

この3年間は、これから社会に貢献していく私たちの生きる指針となってゆくことと思います。今、私たちは卒業の喜びで胸がいっぱいです。それと同時に、高女の卒業生であるという誇り、そして先輩方がなされてきたように高女の伝統を担っていくのだという使命感を強く感じています。

未熟な私たちではありますが、先輩方には今後のご指導をお願い申し上げまして、入会の言葉とさせていただきます。

平成18年3月1日
新入会員代表　横尾美樹

〈高58回期別幹事〉
大崎友里恵（2組）
関根　茉帆（3組）
小見　曜（6組）
横尾　美樹（8組）

平成18年度 行事予定

平成18年	
5／1(月)	総　会
6／25(日)	第55回京浜同窓会 青山ダイヤモンドホール
9／1(金)	旅行申込日
10／15(日)	親睦旅行
平成19年	
2／4(日)	新年会　ビューホテル
3／1(木)	同窓会入会式
4／1(日)	会報21号発行

平成18年度　会議

(1)常任幹事会
同窓会全体に関わる議事の審議

(2)期別幹事会
年に1～2回開催

(3)旅行企画委員会
毎年秋に行われている親睦旅行の計画・準備

(4)会報編集委員会
同窓会報「椎の樹」の企画・編集

(5)名簿委員会
5年毎に発行される会員名簿の準備・編集

(6)合唱団運営委員会
同窓会合唱団「コール・椎樹」の練習や発表会を計画・運営

(7)その他
会計監査、役員改選時の推薦委員会、当番期打ち合わせ会議など

会則改正について

高3　金井　幸子

以前からの懸案事項である同窓会会則について、18年度の役員改選を前に17年度、本格的な討議が行われました。

素案の素案をたたき台にし、常任幹事会での熱心な議論の結果、原案が作成され、去る18年1月27日の総会に代わる期別幹事会に上程されました。

出席者65名。椎樹館和室で、なごやかに議事が進行しました。詳細については各期の幹事あるいは常任幹事にお聞き願うことにし、主要事項について報告いたします。

まず、改正の中心は役員の選出についてです。

今迄は、平成3年に改正された会則に従って、会長のみを推薦委員会で推薦し、総会で決定され、副会長3名は会長の指名で選出されておりました。

今回、**会長・副会長・監査ともに推薦委員会で推薦し総会で決定する**—第6条—ことになりました。

なお役員の任期についても今迄は留任を妨げないとしておりましたが、**会長については、任期2年で留任は3期迄**—第8条—としました。

長く御苦労頂く事の良さもありますが、適任の方々も大勢いらっしゃいますので、入り易く、去り易い期限つきが望ましいということになりました。

また、活動の中心になる**常任幹事の選出についても、改選時の総会で、各グループ別に期別幹事より選出し、会長が委嘱する**—第6条・細則①—ということで、その位置づけを明確にしました。

その他、細則①の**常任幹事のグループ別については適宜改選期に見直し**（現在は4期を1グループとしている）、若い期別幹事の活躍を期待することも決定されました。

更に、全体的な表記上の問題点や流れも整理し形を整えました。

良き伝統を守りつつ、新しい風を送りこみ、県下に名だたる高女の同窓会が一層輝いていくことを願っています。

2005年度 総会記念講演

講師　北爪蔵次先生
「私の俳句と短歌」を聞いて

高29　冨所　淳子

腕時計に目を落とし静かに机の上に置かれてから「実は私、60歳まで俳句とか短歌を作った記憶は、ございません。」北爪蔵次先生の講演会が、5月7日総会の後同じく椎樹館1階和室にて、始まりました。

平成6年、先生は脳梗塞の大病に見舞われましたが、幸い後遺症もなく退院。その後は医者に勧められたストレスのない生活を心掛けられ、リハビリを兼ねた趣味として、水彩画と毛筆での〝絵日記〟を書き始められました。これが先生の俳句・短歌の出発点となりました。一日も休むことなく書き続けられた半年後、文が俳句に、そのまた半年後には短歌に変わっていきました。

時を同じくして新聞社へ投稿を開始され、「体育の授業のかなた雪の山」が掲載されたことを皮切りに、現在まで新聞掲載数1654（俳句982・短歌672）その他入選句70を数えるまでになられました。

その間、複数の結社の熱心なお誘いがありましたが、すべて辞退されたそうです。師となりて寂しき終の

卒業歌

。裸子の走る姿の寝相かな

。雲ひとつなき青空の寒さかな

。まだ残る歯で数の子の音をかむ

。リハビリも済みてゆるゆる暮らしをり脳梗塞の今日は記念日

。人気なき公園の鶴近寄り来傷ある嘴を少し開きて

。教へ子が記念にくれし林檎の絵三十年も部屋に掛けきし

等々の作品を、時折ユーモアを交えつつ、飄々とご紹介下さいました。会場は終始なごやかな雰囲気が漂っておりました。

そして最後に、自信作である「浅間嶺の今日よく見えて枯野原」を、題材に5年以内に油絵を描き市民展に出品するのが、目下の〝夢〟であると少し照れくさそうに語られました。まだまだ資料には、解説していただきたい作品が多数ありましたが、諸事情によって開始時間が遅れたことを気遣ってくださり、高女万歳！と締め括られて丁度予定時刻に終了となりました。

〝幾つになっても、学ぶこと・挑戦すること・続けること・夢を持つこと〟先生のメッセージはしっかりと受け取りました。北爪先生、またいつか、是非この続きをお聞かせください。

ありがとうございました。

椎の小径

踏青や生きる力を地に求め
初蝶のひかり纏ひて磴のぼり
人逝きて花の吹雪を疎みけり
女45　田島ゆき子

百年の歴史彩る谿紅葉（百周年の折水上にて）
良寛の来さうな越の雪安居
星月夜ウィーンの楽に深入りす
女45　中嶋　孝子

風が火を火が風を呼ぶ野焼かな
繰り言の多くなりしや木の葉髪
新聞を大きく拡げ縁小春
女46　塚越喜代子

臘梅の香のたゞよへる鳥居かな
鶯に朝の筆を運びけり
太陽に向きて平らや鉄線花
女46　吉村　節子

春雪の儚き舞の一途なる
名苑の順路乱せし春の泥
うららかや幼な子犬に絵本読む
女47　小川芙美代

TEACHER

最後の楽園？

佐藤　健一

ヒマラヤ
マチャプチャレの麓にて

「校長先生、私が女子校に向くと思いますか。」「思わないな。しかし県が決めたことだ。高女は最後の楽園といわれているんだ。喜んで行きたまえ。」平成元年3月初旬、中央高校の校長室で私とN校長の交わしたやりとりです。

校歌は斉唱するものと思っていた私は、〝朝夕窓に仰ぎ見る…〟が後半三部合唱で展開する美しさに、これぞ楽園の音楽とうっとりしました。生徒はのびやかで自治能力に富んでいました。世界史の授業中に「資源は有限だから、有効需要の創出には限度があるのでは？」と、ケインズ理論について受験には関係ない鋭い質問が出ました。部活動は運動部・文化部ともに盛んで、県総体の総合成績で毎年上位に名を連ねていました。椎樹祭のファイヤーストームでは、稲荷町校舎4階のベランダ数か所からワイヤーを伝わって発火筒が火を噴きながら校庭に積まれた木材に突っ込みます。それが燃え上がるのを合図にフォークダンスが始まるのは、ちょっとした感激の場面でした。

ところが最後の楽園も、私が在任していた間に、時代の要請に応えて受験体制が確立されていったように思います。校外模試や共通一次試験での点数を、科目別に県内外の進学校と比較し、一層の高得点を目指して補習が濃密に行われるようになりました。確かに大学合格の実績は向上しました。また、単なる進学校では潔しとしない伝統が、部活動の好成績をも持続させました。しかし、全体に伸びやかさは失われていったように思

講師紹介

前商・藤高を経て、昭和39年から52年まで英語教諭として勤務。その後、富高・椛高・嬬恋高・渋高を歴任し、平成7年3月定年退職。

退職後、水彩画・俳句・短歌・油絵等、多彩な芸術活動にとり組んでいる。

平成10年度上毛文学賞短歌の部佳作。11年度短歌の部入選。

ゆかり縁

それぞれの時代に

高52　綱島裕美

女37　綱島（柳沢）文子
高19　綱島（綱島）千栄子
高22　富沢（綱島）久代
高25　綱島　幸子
高52　綱島　裕美

〔文子の時代〕校舎は末広町（現在の市文化センター）にあり、みな裾に自分で刺繍した三蓋松のスカートをはき、校舎右手にある、皇大神宮に拝礼をして登校したものです。今でも、高崎市立図書館の南に残る藤棚の下で、友人達と語りあったことを、藤の咲く季節が来るたび、なつかしく思い出します。

〔千栄子・久代・幸子の時代〕社会は、高度成長期への黎明期を迎えるとともに、第一次ベビーブームの世代が高女に入学する頃でした。校舎もこれに伴い、南側に新校舎が建ちました。3人ともバスケット部に入部し、川嶋尚武先生のご指導の下、苦しい練習の中で我慢強さを、またそれを克服した後の達成感を、仲間と力を合わせることのすばらしさを教えて頂きました。この苦楽を共にした仲間とは、卒業して約40年が過ぎても、あの時と変わらず、同じ気持ちで支えあっています。

〔裕美の時代〕文子、千栄子たちの時代とは違い、校舎は稲荷町に移りました。また、創立100周年という節目の年にいます。

昨年8月、あら町の映画館で「リンダ　リンダ　リンダ」を観ました。女子高校生のバンドが学園生活最後の文化祭に打ち込む数日間を扱った作品で、女生徒の微妙な心の揺れや高揚や一途さが描かれていて爽やかでした。見終わって私は、自他共に認めた女子校不向きの理由が自分の無理解にあったことに今更ながら気づき、かつての生徒諸君へのすまなさにうつむいたまま、夕暮れの街へと歩き出しました。（高商・中央高を経て、平成元年～8年　世界史教諭として勤務）

左から　裕美、文子、千栄子

在籍することができ、また同時に、父信夫もPTA会長という大役に任ぜられ、非常に幸運なことでした。流行はミニスカートにルーズソックス。誇りある高女生とは思えない姿と、眉をひそめた方もいらっしゃったかもしれません。しかし、椎樹祭・体育祭ともなれば、伝統ある高女生の精神を忘れることなく皆〝成功〟という一つの目標に向かって一心に力を合わせたものです。

三代という長い時の流れの中で、私達を高女が結び付けてくれたこと。またその高女の制服を家業として取り扱うことができるということは、この上ない幸せと感じております。

〝朝夕窓に仰ぎ見る…今でも、この歌を口ずさむ85歳の祖母の姿があります。高女の校歌によって歌い継がれる誇りある精神が、現在、未来の高女生にも永遠に続いていくことを信じてやみません。

同窓会だより

親睦旅行　紅葉の信州蓼科高原

高30 藤倉佳子

〝マリー・ローランサンと英国式庭園を訪ねて〟

明け方までの雨がやみ、抜ける様な青空に白い雲が爽やかな10月16日、総勢43名で、秋の信州蓼科高原へバス旅行に出かけました。

諸先輩方の御挨拶の後、全員の自己紹介。和やかな雰囲気の中、順調に最初の目的地紅葉と緑のコントラストが美しい、蓼科湖畔にある「マリー・ローランサン美術館」に到着。甘美で優雅な女性の世界を淡い色調で柔らかに描く画家という印象が、今回大きく変わりました。ドイツ人の夫と第一次世界大戦時に亡命。辛酸を嘗め、離婚。その後再生の道を必死に模索し、苦手とした赤、黄色をも克服し、版画に確かなデッサン力を追求。自分の内面を深く見つめ、常に人生において創造する努力を怠らない力強く逞しい人という印象を受けました。その後、館外の北村西望やロダンなど、内外の有名作家の作品約70点が点在する「蓼科高原芸術の森彫刻公園」で、全員の記念撮影。自然との優美な調和を見せる公園内を散策。昼食は隣接のアートランドホテルで、美味しいフランス料理を頂きました。

次なる目的地、日本初の本格的〝英国式庭園〟で知られる、「バラクライングリッシュガーデン」では、期別ごとに写真撮影。自然の中における人間の「ものづくり文化」の成果として、15年の歳月を経た「憧れの庭園」を観賞しながら、美味しいスコーンとアフタヌーンティーに会話も弾み、買物を楽しみました。今度は是非6月頃のバラの季節に訪問したいと思います。

帰路の車内では、俳句の披露や校歌の合唱などがあり、元気いっぱい楽しい旅もおわり無事に高崎に到着。

今回が初参加でしたが、企画実現のために準備段階より御尽力いただいた同窓会の諸先輩方、当番期幹事の皆様方に心より厚く御礼申し上げます。御陰様で、思い出深い有意義な一日となりました。

〝つぎ何処　友と楽しむ旅の秋〟

京浜同窓会

高30 馬場政子

平成17年7月3日に、第54回高女京浜同窓会が赤坂ホテルニューオータニにて開催されました。当日は高崎よりご来賓の皆様、懐かしい恩師の方々がご臨席くださいました。高崎方面からも沢山の同窓生がお集まりくださり賑やかな宴となりました。

初めに、ご逝去された前会長　斎藤民先生を偲び黙祷をいたしました。次に、京浜同窓会鈴木会長と同窓会角田会長より「民先生」の思い出話を交えたご挨拶を頂き、掛川校長よりご祝辞を頂戴いたしました。そして、萩原事務長の乾杯の音頭で和やかに会が始まりました。

それぞれのテーブルで話に花が咲き、宴たけなわの頃、高30回同窓会生の横尾美恵子さんの歌と中島衣麻さんのピアノによりミニコンサートが始まりました。選曲された歌に関するお心温まる横尾さんのトークを交えた進行で、子供達に囲まれて音楽を続けられているお二人の優しさが満ちあふれた、素敵なコンサートとなりました。

最後に全員で「夏の思い出」を合唱し、鈴木会長の指揮で校歌を斉唱いたしました。

名残り惜しい中、お開きの時間となり、またの再会を約束しつつ閉会となりました。

〝お知らせ〟

放送大学クラブへのお誘い「毛野の広野会」と命名。会員を募集しています。

（連絡先）高26　広瀬節子
〒370-0886
高崎市下大島町36
Tel 027-343-9810

新年会

高29 羽鳥いずみ

今年も新年会が2月12日、高崎ビューホテルにて盛大に開催されました。約300名の参加者が、寒空の中、春の訪れを告げるような華やかな会場で、掛川校長を始め3名のご来賓の出席を頂いて、角田同窓会長のご挨拶から始まりました。掛川校長のご祝辞では、今年度の高女生の活躍ぶりも伺えて喜ばしく、皆様の祝福を受けて、茂木教頭のご発声で乾杯を致しました。祝宴の途中で、余興のジャンケン大会が行われ、7人の勝者がステージの上今年の吉運を喜び合いました。

食事とおしゃべりの後は高井美知子さん（高29）のソプラノ独唱と、岡本奈津子さん（高32）のピアノ伴奏による素晴らしい演奏会でした。「フランス音楽で語る愛」というテーマで選曲された、ピアノソロを1曲含む全5曲に、しばし会場が魅了されました。

続いて同窓会合唱団が、小林芙佐子さん（高18）の指揮と横塚恵子さん（高21）のピアノ伴奏で「月と良寛」より3曲を披露して下さり、「翼をください」を全員で合唱すると、若い時の勇気が再び沸いてくるようでした。

その後、事務局から新しい校内理事の先生の紹介と連絡。続いて、旅行委員長より親睦旅行のご案内があり、高29回から高30回への当番期の引継ぎが行われました。

最後に全員で校歌を合唱し、なごり惜しみながら閉会となりました。

新年会は、高女同窓会の縦のつながりを感じられる貴重な行事なので、今後さらに多くの方に参加して頂けたら、と思いました。

椎樹祭書道展

高6 新井京子

平成17年5月の総会で「高女椎樹祭同窓会書道展」の決議があり始動いたしました。早速OGの方々にご連絡。出品の諸を女学校4、高校17計21名の参加で、6月11日搬入・展示。12日9時から3時まで椎樹館和室に於て公開いたしました。学校長、教頭、事務長の先生方と同窓会長、副会長役員の方々、その他在校生卒業生大勢の皆様においでいただきましたことは非常に光栄でございました。内容も第一線で活躍中の作品で、漢字・かな・詩文・前衛と幅広く密度の濃い感性の高いものでございました。小品ではございましたが各自創意工夫に溢れる書道展となりました。

そして校内理事の堀口先生、岡田先生の一方ならぬご助力と当番期の方々のご協力のお陰さまにて無事終了いたしました。改めて御礼申し上げ、ご報告と致します。

同好会活動

「コール・椎樹」誕生

高24 須藤静子

「高女同窓会合唱団」が「コール・椎樹」に生まれ変わりました。椎樹は高女のシンボル。コールは女性らしさ。高女生らしい品位が感じられませんか。この名前をご報告すべく、私たちは大舞台に立ちました。1月29日、斎藤民先生追悼演奏会では、「コール・椎樹」として「月と良寛」より3曲、全体合唱では5曲を見事に歌い上げました。民先生は、きっと笑顔で私たちを見守ってくださったことでしょう。小林芙佐子・横塚恵子両先生のご指導で、毎月第2日曜日、椎樹館で練習しています。歌うことが大好きな方お待ちしています。

写友「虹」写真展ご案内

高2 望月清世

一輪の花に風情を感じ、一羽の鳥の声にも無心に耳を傾け、四季の自然の美しさと厳しさ、又人物の品格ある風貌や暖かさ等、写真に表現する難しさを和気藹々と論じながら、月例会を重ねて13年。2006年は11月24日から29日迄、高崎シティギャラリーにて第7回写真展を予定して居ります。今回はデジカメ化も進んできた今日この頃、新感覚も組み込んで一味違った作品展をと全員頑張って居ります。写真に興味をお持ちの皆様に、お越し頂けますようご案内申し上げます。

期別同窓会

さくら会

女39 桜井英子

私達は昭和15年に卒業しました。入学直前に2・26事件、2年生夏には日支事変が起こり、戦争の足音が高まる中でも、平穏な女学生生活を満喫する事が出来て幸せでした。

「さくら会」は39に因んで名付けられ終戦後からずっとクラス会を続けております。一泊温泉旅行時にも、戦時下で教育を受けた私達は決して派手ではなく、心の温まるクラス会を心掛けてきました。

昨年は嬉しい事がありました。長い間同窓会副会長、母校の校医をしておられた「さくら会」の代表角田智恵子さんが斎藤民前会長の後任として新会長に選出されました。そして2月13日恒例の同窓会新年会で新会長として壇上に立たれ堂々と御挨拶された時は私共は非常に感激致しました。新年会終了後は部屋を移し、祝賀会を兼ねたクラス会を開きました。44名の出席者が、ここ数年途絶えていた事で昔話に花を咲かせ、和気藹々、かってない最高の盛り上がりでした。後半は合唱団の指揮をされていた結城ユキさんの指導で昔懐しい歌を合唱。友情の絆を深め名残り惜しみつつ散会致しました。卒業後60数年過ぎ八十路を迎える頃となりましたが、立派な校歌を忘れない様に前向きに過ごしていきたいと思っています。

同窓会にゴスペルを！

高20 斉藤信子

前日関東南部に雪をもたらした低気圧も去り、小春日和の1月22日、長谷川ホテルで高20同窓会が、11年振りに開催されました。9名の恩師、33名の同窓生が集い、久し振りの再会に花が咲きました。

乾杯の辞の後、同窓生8名によるミニゴスペルコンサートが始まりました。9月から練習を重ね、恐れを知らないゴスペルクワイヤーズ〝なんなんざんしょ〟としてクリスマスデビューを飾り、これが2度目の登場！曲は「アメージング・グレース」、「天使にラブソング」他。先生方も同窓生も乗りに乗って「ウィシャルオーバーカム」を合唱しました。先生方のスピーチでも、丑丸先生と須藤良昭先生は、60代でスキー技術をますます深め、北爪先生は絵画や俳句。田辺先生は現役の図書館長、久保田先生は月に1度海外旅行。斉藤薫先生は染色や洋裁を楽しまれ、川嶋先生は少しふっくらされた分お若く見え、小屋先生も病気を克服されお元気そうでした。吉田先生に至っては、八十路で「性物学」を研究中とのことで皆脱帽！人間は志があれば、幾つになっても進化していくのだと意を強くしました。

おたより

『最後の一言』を出版して

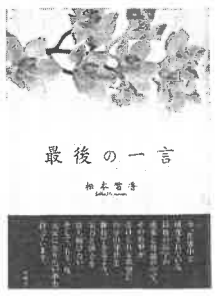
高11　越後幸子

『最後の一言』―パーキンソン病闘病記―を執筆して、本として出版してから1年がすぎました。その間たくさんの方から読後の感想や励ましの言葉をいただきました。私はただ、60余年の自分の足跡と闘病生活の生きざまを、文章に置き換えただけと思っていましたのに、それが人の心をゆらすものだと実感しました。しかも視点が全て高女時代の仲間との接点からスタートしている事に気付きました。バスケット部への入部により人との協調性を学び、何事も最後までやり遂げる根性を身体で覚えました。10代の環境が将来に影響を与えるのを感じました。相変わらず闘病の日々ですが、病気に負ける気はせず、必ず快方に向かうと信じています。

今、世界中で研究されている最新の医学の進歩と発展の中で、その治療が受けられる状態に自分の身体を維持できるよう、気力と体力を持ち続けたい。そしてもう一度元気になりたい夢を持っています。

出版社のプロデューサーが電話のむこうで「一人でも感動して下さる読者がいれば、もうこの本は成功ですよ」と言われた言葉が今でも耳の奥で消えません。

今世の中で全て健康という人は少ないと思います。もし病気でいる人でも、私の考え方、生き方が少しでも役に立ち参考になれば、こんな嬉しいことはありません。あきらめないで元気になれるのを胸に秘め、明日に向かって生きていきます。



顕彰

女43　宮下初枝さん

瑞宝双光章

平成17年11月3日

42年間民生児童委員を務められ、社会福祉功労により受賞されました。

北から南から

◇女30　**大和フクエ**（目黒区）

お世話様です。90歳になりましたが、元気で暮らしております。

◇女33　**信沢好子**（川崎市）

今年10月に88歳になります。病名のついた病はした事がありません。一応健康でおります。お世話になります。

◇女35　**三浦セイ**（北群馬郡）

平成16年度、高女同窓会の旅行に参加させて頂き、大変楽しかったです。又健康でしたら今年もお世話になりたいと思って居ります。

◇女36　**須賀秀子**（太田市）

85歳になる私は今でも、高女に学び多くの先生方の教えを忘れることはありません。子供の頃の教育が如何に大切なものであるかを、しみじみ思う今日この頃です。太田市在住の同窓生は稀ですのに、奇しくも同じ町内に竹内敬子様（私の娘位の年令）がおられ、共通した母校の話が出来、独りぐらしの私は力強い味方で、何時も色々とお世話になり感謝の日々を健康に過ごさせて頂いています。

◇女43　**中曽根愛子**（高崎市）

私も喜寿を迎え、年令には勝てず腰痛に悩まされております。思うように働けました頃が懐かしく感じられてなりません。同窓会の益々のご発展をお祈りしております。

◇女43　**佐野住江**（さいたま市）

お陰様で77歳を迎えられ、3人の子供と5人の孫達が次代を荷って行って欲しいと祈っております。これも昔きちんとした女子教育の賜と感謝しております。

◇女45　**西原和子**（さいたま市）

「椎の樹」をどうもありがとうございます。今まで、がんばり過ぎてきましたので、これからは少しのんびりと、人生を楽しんで行きたいと思います。

◇高3　**金井晶子**（高崎市）

同窓会コーラスの練習で訪れる母校の校庭では、いつも若さがみなぎる生徒の運動する姿が見られます。文武両道で頑張る後輩を嬉しく眺めています。

◇高4　**福田ユリ子**（周南市）

高崎には年に少なくても2回は帰って居ります。母校の近くを通りまして、懐かしく思います。ますます母校の御発展をお祈り申し上げます。朝のドラマ「ファイト」を見て故郷を懐かしく思います。

◇高4　**深堀哲代**（松戸市）

「椎の樹」を楽しく拝見して懐かしく思い出して居ります。6年間の学生生活は、その後の人生にも大きく左右したのではないでしょうか。

◇高6　**吉田寿江**（板橋区）

斎藤民先生のご冥福をお祈り申し上げます。高崎を離れて45年余り、来年は古希を迎える歳になりました。「椎の樹」を拝見し、高女時代を想い出し乍ら、これからも元気にがんばろうと都会の騒音の中で暮らしております。

◇高10　**五月女紀代子**（夷隅郡）

高崎を離れて40年、毎年送って戴く「椎の樹」を拝見し、故郷そして学生時代を懐かしんでおります。朝礼の校歌合唱〝高きに登る心もて　心の魂は磨かなん…〟60歳半となり、詩の奥深さをかみしめております。

◇高16　**樋口秀子**（高崎市）

H17年4月16日、水沢山登山中、高女山岳部員達と会いました。私達もはじめての登山はこの水沢山でした。現在もまだ続いているのかと、懐かしく昔の事を思い出し、孫に近い年令の生徒達にガンバレのエールをもらいました。

◇高19　**下村すみよ**（深谷市）

年をとってくると〝母校〟というものに、愛着が深まることを実感しています。

平成18年度
高女同窓会親睦旅行
のお誘い

東京散策とランチクルーズ

1．期日　平成18年10月15日（日）
2．費用　12,000円
3．行程　東京方面日帰りバス旅行
高崎駅東口（7：40）＝五島美術館＝ヴァンテアン号（ランチクルーズ）＝六本木ヒルズ（自由探訪）＝高崎駅東口解散（18：30）
4．定員　50名（バス1台）
5．申込方法　期日：平成18年9月1日（金）10～15時

場所：母校椎樹館（口座振替による申込みも可能です）皆様のご参加を心からお待ちしております。

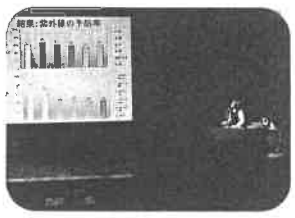
◉ お問い合わせ　旅行委員
高30　星野　好美　☎ 027-364-8032
清水久美子　☎ 027-363-5450

母校の近況

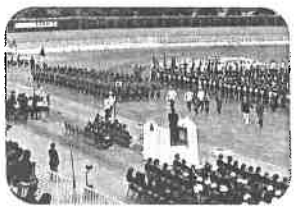
◉ ＳＳＨ研究発表大会

スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）の指定を受け、３年目の研究課題の成果を発表し、本校の今後の教育活動に役立てるため、８月に市文化会館において研究発表大会が開催されました。

３年生ＳＳＨクラスの研究発表を中心として、お茶の水女子大学千葉和義教授による基調講演「女性と科学」、三菱総合研究所藪田尚宏主任研究員による指導講評、ＳＳＨ担当者による年間の経緯説明が行われました。



３年生は６つの班が、身近な疑問からスタートした紫外線や放射線の影響、無重量等に関する研究成果をそれぞれ発表しました。その場でされた質疑に対し答える様子は堂々としたもので、将来この中から女性研究者が育っていくことが望まれます。



◉ 高校総体４連覇達成

５月に行われた県高校総体において、高女は女子総合優勝を果たし、平成14年からの４連覇という快挙を成し遂げました。種目別競技における優勝こそありませんでしたが、まさに総合力の勝利といえるでしょう。新体操、山岳、陸上、バレーボール、剣道、ソフトテニス、卓球、空手の各部が関東大会へ出場し、学業との両立の中、大健闘しました。また、開会式で１年生が参加した入場行進では、３年ぶりに優秀校に選ばれ、４連覇に花を添えました。

◉ 弓道場完成

校庭南門近くに、念願の弓道場が完成し、平成17年３月17日㈭に道場開きが行われました。日頃より後輩の指導にあたっておられる、県弓道連盟高崎支部の勝俣敦子（高12）副支部長が矢渡しを行い、弓道部員による祝射と続きました。今まで、弓道部の練習は、４㎞あまり離れた浜川運動場で行われていましたが、今後は校内での練習が可能になり、ますます熱が入ることと思います。

◉ 主な合格大学

平成18年3月30日現在
延べ数表示　※( )内は過年度卒

【国立大】		【公立大】	
北海道大	3	群馬県立女子大	6(1)
東北大	9(1)	高崎経済大	14(3)
茨城大	5(1)	埼玉県立大	4(1)
筑波大	6(1)	他７校　計	33(7)
群馬大	43(6)		
埼玉大	6(1)	【私立大】	
千葉大	11(1)	自治医科大	4(1)
東京大	1(1)	北里大	14(1)
東京学芸大	3	慶應義塾大	4
新潟大	13	上智大	9(1)
名古屋大	1	中央大	27(5)
京都大	1	東京理科大	26(7)
大阪大	1	明治大	25(6)
奈良女子大	7(1)	立教大	32(9)
他16校		早稲田大	21(6)
計	136(19)	など計619（130）	
医学部医学科	4		

◉ 部活動の記録

陸上部　円盤投げ
関東大会優勝
インターハイ出場
水泳部　インターハイ出場
国民体育大会出場
百人一首部　関東地区小倉百人一首かるた大会（群馬県チーム）優勝
マンドリン部　全国高校ギターマンドリンフェスティバル　大阪市長賞（３年連続優秀賞受賞）スペイン大使賞受賞
書道部　全国総文祭参加
放送部　全国総文祭参加
新聞部　全国総文祭参加

事務局より

住所変更等の場合には母校内同窓会事務局あてに、御一報ください。

正確を期すため、お葉書き等でご連絡いただければ幸いです。

〒370-0062
高崎市稲荷町20

あとがき

◆椎の樹20号をお届けするに当たり、創刊時から19年間の同窓会の歩みをふり返ってみました。◆母校創立90周年―『高女90年史』刊行、松樹館建設等に協力。母校95周年記念演奏会。母校100周年―同窓会展記念演奏会、同窓会記念誌発刊『朝夕まどに』は上毛出版文化賞を受賞、群馬県高等女学校発祥の地末広町にある石碑を整備。同窓会100周年、毎年の総会、京浜同窓会、親睦旅行、新年会とその都度同窓生が集い、母校に親しみ和やかに交流する機会を重ねられたこと、そして鬼籍に入れられた先輩方のお元気でいらした頃をなつかしく思い返すにつけ、過ぎ行きし年月の暖かさと重みをしみじみと感じています。◆同窓会の目的、会員相互の旧情を温め、知徳をみがき、あわせて母校の振興に協力することに沿ってこれからも歩み続けられますことを願っています。◆会報も題字は斎藤前会長の筆によるものですが、20号はバックを変えました。「椎の樹」が新しい風をうけて編集され、3万を超す同窓生を結び、母校の様子を思い描いたり、そこで学ぶ若い女性の将来と社会環境を考えたりと、それぞれのひとときをほっと味あう、そんな役割を担いながら号を重ねられたらよいと思います。

編集委員長　高9　吉野烈子

―― 編集委員会 ――

女39角田智恵子・高5吉村晴子・高9吉野烈子・女43関根みどり・高3金井幸子・高4岡田俊子・高17善如寺尚子・高19武井治子・高20斉藤信子・高22田中和子・高23福田和子・高24宮尾志津子・高25林いずみ・高26広瀬節子・高27冬木嘉子・高28羽鳥康子・高29冨所淳子・井野明子・高30高木暢子・乾裕子・事務局＝高19堀口まち子・高36大槻恭子